



JASWHS 公益社団法人 日本医療ソーシャルワーカー協会

Japanese Association of Social Workers in Health Services

令和4年10月27日 第12巻(第2号)

発行：東京都新宿区住吉町8-20 四谷チンゴビル2F

災害支援チーム TEL (03)3351-5038

FAX (03)5366-1058

Mail: dsstsw@jaswhs.or.jp

## もくじ

### 巻頭言

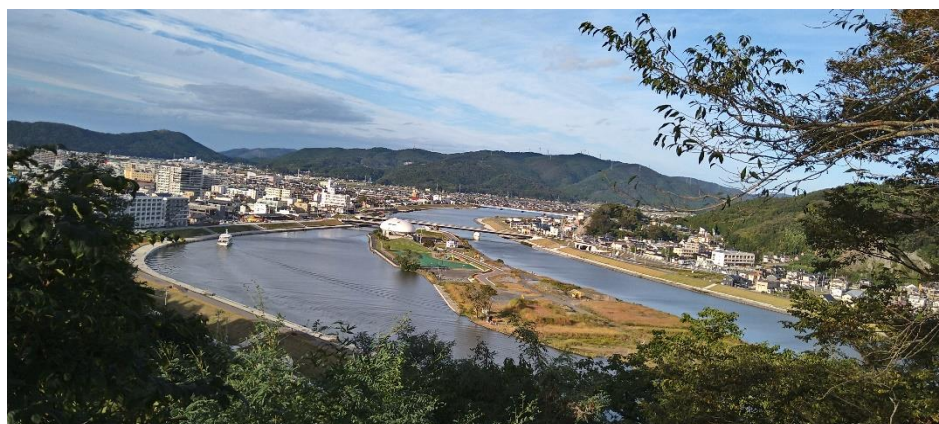
1. 新職員 自己紹介
2. すみよし・コラボ祭りを開催して
3. 石巻川開き祭りと川村孫兵衛翁について
4. 石巻事務所主催・9月の研修に参加して
5. 災害支援チームからのお知らせ
6. 災害支援ニュース発行のお知らせ

### 編集後記

## ◇ 巻頭言

### 石巻市齋藤正美市長を表敬訪問

石巻災害支援チーム 現地責任者 福井 康江



2022 年 10 月 日和山から見える中瀬の風景

今年も残すところ、あと 2 ヶ月足らずとなりました。紅葉も深まり、いよいよ冬の準備が本番となってきました。

石巻での活動の終結に向け、今まで積み重ねてきた支援をどのようにまとめてゆくのか、どのように石巻に残してゆくのか、その大きな締めくくりの第一歩として、この夏、大橋謙策顧問、笹岡統括と共に齋藤正美市長へ表敬訪問を行いました。この訪問に際し、関係部署の方々には 3 か月越しの調整をいただき、感謝申し上げます。

市長との面談の中で、関係機関、部署との連携を更に進めてゆくこと、石巻での 10 年以上に渡る活動報告集を作成してゆくことなどを確認することができました。この事業のゴールがより具体的になったことで、石巻での活動にも拍車がかかったように思います。そして、今までお世話になった方々や、これから出会う方々と共に過ごす時間をより真摯に、大切にしたいと思っています。

2022 年 10 月

日和山から見える石巻湾





## 1. 新職員 自己紹介

現地責任者 福井 康江

岩崎隼生さんは、本協会のホームページの求人欄を見て応募され、この8月から石巻の職員として活躍されています。慣れない土地での一人暮らしとなり、この土地の言葉にも苦労があるかもしれませんが、重要なラストランナー、ラストバッターと一緒にゴールを目指したいと思います。



石巻災害支援チーム 現地担当 岩崎 隼生

8月1日より公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会石巻事務所に入職しました。当協会に入職する前は慢性期病院で勤めておりました。前職での経験を活かし貢献できるよう業務に励んでいきたいと思っています。

私はまず石巻市に来て、大川小学校など被災地を訪問し改めて災害の恐ろしさを痛感しました。災害から10年が経ち、私が思っていたよりも復興は進んでおり復興住宅もたくさん建てられておりました。

復興住宅など訪問する機会も多くそこでは様々な不安や悩みを抱えている方もおり、人とのつながりの希薄さなど、目には見えにくい課題があることを感じました。そのため、私たち支援者が人とのつながりの構築や心のよりどころになれるよう関わりをもち支援していくことが大切だと思いました。

入職してから8月に石巻市で3年ぶりの川開き祭りがありました。私個人としても花火を見ることが久しぶりでとても感動しました。コロナ禍でイベントなどの中止が多い中で3年ぶりにこうして開催ができ地域の方々が笑顔でお祭りを楽しんでいる姿をみて私も感慨深い気持ちになりました。入職して早々に石巻市の文化や伝統に触れることができてとても貴重な時間でした。

また小規模ではありましたが、関係機関の支援者の方々と協力し地域のお祭りを開催する

ことができました。私としては関係機関の方々と協力して何か一つのことを行うことはとても貴重な経験であり学ぶことも多くありました。

これから石巻市でたくさん学び、経験して支援者として皆様の力になれるよう頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞

## 2. すみよし・コラボ祭りを開催して

∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞



石巻災害支援チーム 現地責任者 福井 康江

∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞

昨年秋に、住吉地区で地域活動支援団体連絡会を立ち上げました。

当協会の石巻事務所のある住吉地区では、特にお世話になっている支援団体が多く、

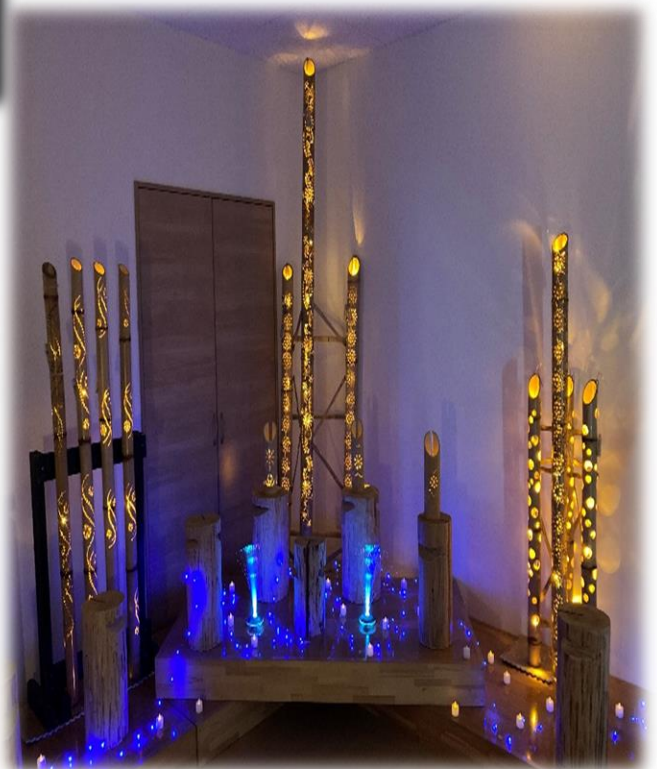
- 1, 身近な地域で支え合う地域づくりのための、各々の事業を理解すると共に顔の見える連携体制を創造する
- 2, 今自分たちができることを繋ぎ合わせ、コミュニティの楽しさを発信する

を目的に、6つの事業所、地区担当の地域包括支援センター、社会福祉協議会のCSCをメンバーにしています。連絡会を重ねるうちに、住吉地区で何かイベントをしてはどうか、との意見が出され、この8月にすみよし・コラボ祭りを開催することができました。

祭りの当日にも展示できるよう、7月にワーカーズコープのスタッフの方を講師に竹明かりのワークショップを2回開催し、子ども達や近隣の住民さんが参加してくれました。前日の夜には、カーシェアリング協会から電気自動車のデモンストレーションを兼ね、竹明かりとのコラボ展示を行い、フードバンクいしのまきからは飲み物などの提供をいただき、参加団体の宣伝ブースや子供ゲームコーナーなど様々な工夫をしていただきました。また、みやぎ連携復興センターからは、費用面での支援と人的なお手伝いもいただきました。

当協会の展示をじっくり見ていた一人の中学生に声を掛けると、「興味があるんです。保育士になりたいなと思っていますが、こうした仕事もあるんですね。」と話してくれ、開催してよかったと実感できた一つになりました。今後、この連絡会をどうするのか、イベントを継続する

のか等、考えなければならない時期となり最初の正念場と感じています。参加者の皆さんの声を十分に伺いながら、地域に根を張る会になることを目指したいと思います。



### 3. 石巻川開き祭りと川村孫兵衛翁について

石巻災害支援チーム 現地担当 高橋 としみ

江戸時代にさかのぼりますが、北上川、江合川、迫川は大雨が降るたびに洪水がおり、仙台平野北部は米作りに適さない土地でした。この新田開発こそが仙台藩の悲願でした。そこで初代藩主・伊達政宗公は北上川から石巻港に至る運河のための水路整備と北上川の水害を防止する為、川村孫兵衛重吉に河川の改修を命令しました。孫兵衛は工事の設計や現場監督だけでなく、工事資金の捻出や年貢を少なくするよう藩に掛け合ったりもしたそうです。親身になって自分たちの身を案じてくれる孫兵衛に応えるように一生懸命働き、改修工事は見事完成しました。さらに、孫兵衛は改修工事と同時に石巻の築港工事も行い、水上交通の整備にも努めました。河川を使った人や物資の運搬が盛んになり、収穫された米が石巻港に集められ、江戸に送られました。以上のように孫兵衛翁に対する報恩感謝の祭りとして始められたのが「石巻川開き祭り」です。イベントの前には、関係者が集まり、孫兵衛翁が祀られている普誓寺（ふせいじ）では供養祭や川施餓鬼供養祭など厳粛に執り行われてから祭りが開催されます。前夜祭では住吉公園前あたりから灯籠が流されます。孫兵衛船競争は翁の冠をつけた水上競技として続けられています。



石巻川開き祭りは川の恵みに感謝するとともに、川村孫兵衛翁を記念し、ひいてはご先祖様の供養の為に始まったお祭りです。来年は川開き祭りが開催されて100回目の記念すべき年です。ぜひ石巻の「川開き祭り」においでください。（石巻市ホームページ参照）





下段右側の写真は震災前に撮影しました。松の木の下あたり、左手に見える石は石巻の地名の由来となる「まきいし」です。震災でかなり傷み現在、松の木は姿を消しました。残念なことに現在、周辺は防波堤が築かれており、直接目にすることはできません。



∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞

石巻災害支援チーム 現地担当 西田 知佳子



二日目は実際に地域にシステムを作るには具体的にどういうことを考え、何をしなければならないか、まずソーシャルワーカーが直面する6つのモデル事例を基に、手挙げ方式で3人が一つの事例を選択しロールプレイを行った。ソーシャルワーカー、問題を抱えている人、参与

観察者の3役を皆が持ちまわる。私は住民とトラブルを起こしている外国人の自宅に訪問するケースを選んだ。メンバーは市の職員と社協の職員で、久しぶりのロールプレイに私は張り切って中南米から来ている女性を演じた。隣のグループは泣き声通報の家庭訪問ケースで、なぜ来たのか、とすごんでいる声がきこえてくる。ロールプレイではその人の性格が思わぬところに表れ面白い。研修の最後は、今どんなサービスや制度を作ったら住民の生活がしやすくなるかを10分間で参加者それぞれで考え、各自発表した。皆の発案を聴きながら大橋先生は「その案は先ほど発表したA君のサービスと一緒にするといい」、とか「Bさんのシステムをさらに充実できるからCさんと一緒にどう現実化できるか考えるように」等とおっしゃって、皆、自分の発案の実現に向けて具体的なことを考え、次回の研修につなげる課題として意気揚々と持ち帰った印象を受けた。

私にはハードルの高い地域福祉の分野で、難しい内容もあったが、久しぶりに若いメンバーとズームでなく対面で研修を受講でき、新鮮で楽しく、充実した2日間だった。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞

## 5. 災害支援チームからのお知らせ

### 【1. 書籍販売】

『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のボタンⅠ』

『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のボタンⅡ』

『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のボタンⅢ』

『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のボタンⅣ』

の販売を行っています！



発災から2011年9月30日までの石巻・仙台・大槌町・事務所・災害対策本部の活動の記録を『バ

トンⅠ』に、2011 年 10 月から 2012 年 12 月までの災害対策本部、石巻市での仮設住宅支援・在宅被災世帯支援・市民活動支援、現地 SW との協働の記録を『バトンⅡ』に、2013 年 1 月から 2014 年 3 月までの災害支援チーム、石巻市での仮設住宅支援・在宅被災世帯支援・市民活動支援、虐待防止センターでの支援・石巻市社会福祉協議会での支援、現地 SW との協働の記録を『バトンⅢ』にまとめました。そして 2017 年 5 月、2014 年 4 月から 2016 年 3 月までの災害支援チーム、石巻市での復興公営住宅への入居支援・仮設住宅被災者自立生活支援・グループワーク支援・市民活動支援の記録を『バトンⅣ』にまとめました。

尚、売り上げの全額を皆様からの寄付として、本活動の資金にあてさせていただきます。

※ご注文は注文用紙で承ります。（注文用紙はホームページからダウンロードできます）

お知らせ欄から注文用紙表示

[https://www.jaswhs.or.jp/about/publish\\_index.php](https://www.jaswhs.or.jp/about/publish_index.php)

注文用紙表示

[https://www.jaswhs.or.jp/news/news\\_detail.php?@DB\\_ID@=1393](https://www.jaswhs.or.jp/news/news_detail.php?@DB_ID@=1393)

∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞

## 6. 災害支援ニュース発行のお知らせ

次回第 3 号発行予定

令和 5 年 1 月

∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞

## ◇ 編集後記

石巻災害支援チーム 現地担当 平野 裕司

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大の影響により 2020 年、21 年と連続で見送られた石巻川開きが 2022 年 8 月 6 日・7 日と開催された。市内では、中心市街地や北上川を舞台に孫兵衛船競漕(きょうそう)、縄張神社奉納大縄引き大会などさまざまな行事を繰り広げられ街は久しぶりに活気づいた。夜には花火大会があり、当協会石巻事務所での「夢と希望の会」が開

催された。感染対策を行いながらの開催ではあったが、当協会事務所でも活気と笑顔にあふれた。また、当協会で行っている活動については現在他機関に情報発信しながら今後のあり方を検討している。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞

新型コロナウイルス 変異株流行の兆し 症状は軽くとも・・・

この冬はインフルエンザにも注意しましょう！！

最高の自己防衛は体力の維持とマスク・消毒・手洗いの継続です